

いろいろなことがあった二〇二一年

二〇二一年もいよいよ最後の月になりました。みなさんにとって今年はどうな一年でしたか？新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う緊急事態宣言、ワクチン接種など本当に大変な一年でした。そこで、住職の今年の一〇大ニュースを考えてみました。

◆前住職（浄楽院釋卓明）還浄

いつも人と話すのが楽しみで最後までお念仏・感謝の日々でした。中学校での教育、お寺の法務、日曜大工や浪曲など、常に前向きでしたが、いろいろなことがあった波乱万丈の人生だったと思います。みなさん本当にお世話になります、ありがとうございました。



2019年9月、門徒の皆さんと壺坂寺で前住職

◆堀 武司さんご往生

ご門徒として、また前住職のよき友人として親しくしてくださいました堀武司さんが二月に還浄されました。長く車椅子の生活でしたが、すま子さんの献身的な介護で最近までお講にも参加されていたお姿が目につかびます。今生でのお勤めご苦勞様でした。

◆新型コロナ緊急事態宣言

まんえん防止や緊急事態にともなう時短や在宅勤務など生活環境の変化に翻弄されました。お講の法座もお斎（お弁当）がなく、字の行事も軒並み中止となってしまいました。

◆ワクチン接種はじまる

コロナワクチンの摂取が豊郷町でも始まり、摂取を希望する高齢者からスタートしました。副反応が出る人もおられ心配しました。私も摂取後三度の発熱がありました。比較的早く治ってホッとしました。なお、さまざまな事情でワクチン接種をしない人もおられます。お互い

十二月（師走） 予定  
一八日（土） お講 十一時  
三一日（金） 除夜会 内勤め



◆前住職叙勲を受ける

前住職が瑞宝双光章を拝受しました。長年の教育活動に対して推薦して下さる方があり、先日届けてくださいました。

◆永代経・報恩講も時短で勤修

感染対策のため、換気をし、密になる時間を短くして時短にて法

要をすることができました。一〇月には「すすはき」もしていただき、無事に報恩講をお勤めできて、ありがたかったです。

◆本堂の照明をLED化

省エネと明るさアップのため本堂の照明をLEDに換えていただきました。明るくて本堂が新しくなったかのように喜んでいきます。また前年の一二月には田中利男さんが境内の白玉石を引いてくださり、とても明るくなりました。

◆感染対策で京都まで車通勤

一〇月まで毎日、京都まで自動車通勤をしました。安全のためと、お金がかかりすぎるので今は電車通勤に戻しました。

◆「愛の不時着」にハマる

GW中、韓国ドラマにはまってしまいました。面白かった。

◆お朝事のオンライン配信

できない日もありますが、毎朝



朝のお勤めライブ配信。上のQRコードをスマホで読み取るか、「覚浄寺」で動画検索して下さい。

# 清 浄 光

覚浄寺だより

## 真珠湾攻撃から八〇年

今年の一二月八日は、真珠湾攻撃の日から八〇年。太平洋戦争に突入し、安食西からも多くの人が戦地で亡くなりました。今も地域紛争だけでなく、コロナによる差別や貧困が問題になっています。戦争に至った私たちの過去の経験を振り返り、平和について考える機会にしたいものです。

先日、大津市堅田のそばにある小野地区へ行ってきました。ここには私が勤めている龍谷大学の学生が、戦時中、勤労奉仕で農道を整備した記念碑が建てられています。学業よりも本土決戦に向けて食糧増産や工場労働が優先されていたのですね。現在の生活が、当たり前ではないことを、あらためて思い知らされました。



（住職）

## 十二月（師走）

昂（すばる）

我は行く 蒼白き頬のまま  
我は行く さらば昂よ

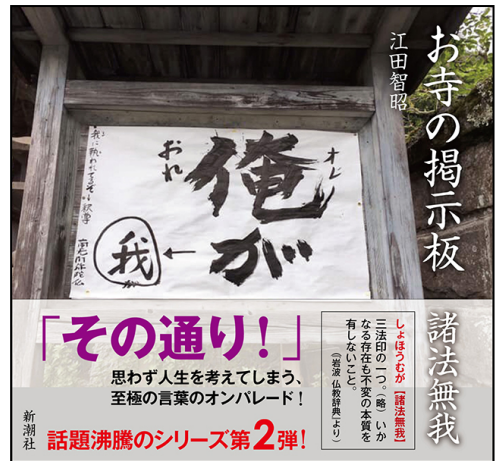
谷村 新司

## 暮らしの仏教語

### 『挨拶』

おはよう。こんにちは。さようなら。挨拶は、もともと禅宗の間答でつかわれる一挨拶からきています。挨拶は相手との距離を縮める、挨拶は相手に迫ると言う意味で、相手の悟りの深さを知り、相手に学ぶことから、誰かと会ったときに交わす言葉を挨拶と言うようになりました。

とはいえ、挨拶が言葉だけになってしまっていることもよくありますね。無意識の間に言葉を発していることもあるかもしれません。でも「おはよう」「こんにちは」の挨拶が相手の気持ちをほぐし、それがかえって自分に戻ってくる。まさに相手との距離を縮め相手に学ぶことにつながります。「なむあみだぶつ」これも私たちの大切な挨拶。仏様との距離がとつても近くなりますね。



## 『お寺の掲示板』第二巻発刊

ベストセラーとなった『お寺の掲示板』の続編が発刊されました。全国のお寺の掲示板の中から、ありがたく、面白く、思わず「その通り！」と納得の名言の数々。とても読みやすいので、皆さんにもお薦めします。表紙は前号に続いて九州のお寺さんの掲示板「俺が↓我」です。つい「俺が、俺が」とがんばっているようで、実は自分の我（が）を我がままに押し通そうとしていることに、ハッと気づかれます。

先日、著者の江田さんとお話しすることがありました。仏教の教えはとても広大で深いので解説を書くのに苦労されたそうです。読み進めるうちに、いつの間にか笑顔になれるそんな一冊です。

## 小屋の改修をしてみた

コロナでどこにも行けないので父親が数十年前に日曜大工で建てた小屋の改装にチャレンジしました。風雨で朽ちていた合板の壁をはずして張替え、色を塗り、ドアや窓も取り替えました。何度もコメリを往復し、木材やネジや工具を買い揃え、ペンキを塗って仕上げました。よく見ると隙間がたくさんあるものの、何とか山小屋っぽくてよい感じに仕上げることができました。DIY名人の父に教えてもらうことはできませんでしたが、インターネットの動画を参考にすることができました。内装はまだなので、来春以降にぼちぼちやりたいと思います。

